

【産直用】きゅうり防除記録日誌

令和8年(2026年)版

支所		氏名	
----	--	----	--

作型 (いずれかに○)	ハウス ・ 露地	品種		作付面積	a 坪			JA確認欄	
播種日	月 日	定植日	月 日	収穫開始日	月 日	収穫終了日	月 日		

防除時期		対象病害虫									薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	RACコード	使用した薬剤名の欄の□に✓チェックを入れ 使用月日を記入して下さい。										
		べと病	斑点細菌病	うどんこ病	灰色かび病	炭疽病	菌核病	褐斑病	つる枯病	黒星病															コナジラミ類		
生育期	予防効果 主体の剤や登録が広い剤			○	○	○	○		○	○	トップジンM水和剤	1500～2000倍	収穫前日まで	5回以内	散布	F: 1	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /						
				○	○		○				アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F: 7	□ /	□ /	□ /	※繰り返し使用する場合は 散布間隔を7日以上あける							
					○		○	○			セイビアーフロアブル20	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:12	□ /	□ /	□ /								
							○	○	○	○	ミギワ10フロアブル	1000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:52	□ /	□ /	□ /								
		○						○			ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:M03	□ /	□ /	□ /								
		○						○			アリエッティC水和剤	400～800倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:M04 F:P07	□ /	□ /	□ /								
				○	○	○	○	○		○	ベルコートフロアブル	2000倍	収穫前日まで	7回以内	散布	F:M07	□ /	□ /	□ /					□ /	□ /	□ /	□ /
		○		○	○	○			○		ダコニール1000	1000倍	収穫前日まで	12回以内	散布	F:M05	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	合わせて 12回以内				
	初期治療効果のある剤	○		○					○	○	プロボーズ顆粒水和剤	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:40 F:M05	□ /	□ /	□ /								
					○		○		○		スミレックス水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	6回以内	散布	F: 2	□ /	□ /	□ /						□ /	□ /	□ /
					○		○		○		ロブラール水和剤	1000～1500倍	収穫前日まで	4回以内	散布		□ /	□ /	□ /	□ /							
				○						○	トリフミン水和剤	3000～5000倍	収穫前日まで	5回以内	散布	F: 3	□ /	□ /	□ /	□ /					□ /	※2回以内	
		○		○	○	○	○	○			アミスター20フロアブル	1500～2000倍	収穫前日まで	4回以内	散布	F:11	□ /	□ /	□ /	□ /	合わせて 2回以内						
		○		○		○		○			ストロビーフロアブル	3000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		□ /	□ /	□ /								
		○									ランマンフロアブル	1000～2000倍	収穫前日まで	4回以内	散布	F:21	□ /	□ /	□ /					□ /			
		○									ダイナモ顆粒水和剤	2000～5000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:21 F:27	□ /	□ /	□ /								
		○	○	○							カスミンボルドー	1000倍	収穫前日まで	5回以内	散布	F:24 F:M01	□ /	□ /	□ /					□ /	□ /		
				○							○	モレスタン水和剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	F:M10 I:UN	□ /	□ /	□ /	※単用散布とする						
																	□ /	□ /	□ /	□ /					□ /	□ /	□ /
																		□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /			
																		□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /			
																	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /				

防除時期	対象病害虫											薬剤名	希釈培率・使用量	使用時期	使用回数	使用方法	RACコード	使用した薬剤名の欄の □に✓チェックを入れ使用月日を記入して下さい。		
	1年生雑草	白絹病	つる割病	半身萎凋病	ネグサレセンチュウ	ネコブセンチュウ	アブラムシ類	褐斑病・つる枯病	アザミウマ類	ホモブシス根腐病	ネコブセンチュウ類								前作の病害虫蔓延防止	前作の古株枯死
定植前	○	○	○	○									ガスタード微粒剤(劇)	20～30kg/10a	播種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	I: 8F	□ /	
	○		○										キルバー	原液として40～60ℓ/10a	播種または定植15日前まで	1回	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	I: 8F H:Z	□ /	
												○		原液として60ℓ/10a	前作の栽培終了後から残渣撤去まで 但し、は種又は定植の15日前まで					
														○						原液として40～60ℓ/10a
														○						原液として60ℓ/10a
														○						原液として60ℓ/10a
						○	○						バイデートL粒剤(劇)	25～50kg/10a	播種前又は定植前	1回	全面土壌混和	I: 1A	□ /	
							○								定植前					
							○						ネマキック粒剤	15～20kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	I: 1B	□ /	
						○						ネマトリンエース粒剤	15～20kg/10a	は種前又は定植前	1回	全面土壌混和	□ /			
生育期						○						ネマキック液剤(劇)	4000倍	生育期 但し、収穫前日まで	1回	土壌灌注 (2ℓ/㎡)		□ /		

防除時期	適応雑草	薬剤名	使用量	散布液量	使用時期	使用回数	使用方法	RACコード	使用した薬剤名の欄の□に✓チェックを入れ使用月日を記入して下さい。		
生育期	1年生雑草	バスタ液剤	300～500ml/10a	100～150リットル/10a	収穫前日まで(雑草生育期は種・定植前又は畦間処理)	3回以内	雑草茎葉散布	H:10	□ /	□ /	□ /

【産直用】きゅうり防除記録日誌

防除時期	対象病害虫												薬剤名	希釈倍率・使用量	使用時期	使用回数	使用方法	RACコード	使用した薬剤名の欄の□に✓チェックを入れ 使用月日を記入して下さい。													
	アザミウマ類	ミナミキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	ハモグリバエ類	トマトハモグリバエ	ハスモンヨトウ	ウリハムシ	ウリノメイガ	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	コナジラミ類	ハダニ類																				
定植前	○								○		○		ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	I: 4A	□ /	定植時までの処理 どれか1つを選択												
	○			○					○		○		プリロツソ粒剤オメガ	2g/株	育苗期後半～定植時	1回	株元散布	I:28	□ /													
	○			○					○		○		ベリマークSC	400株当り25mLの薬剤を、10～20ℓ(1株当り25～50mL)の水に溶かす	育苗期後半～定植当日		灌注		□ /													
	○								○						定植直後		株元灌注		□ /													
	○								○				スミチオン乳剤	1000～2000倍	収穫前日まで	5回以内	散布	I: 1B	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /									
							○		○			○	マラソン乳剤	1000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		□ /	□ /	□ /											
		○			○				○	○			アグロスリン乳剤(劇)	1000～2000倍	収穫前日まで	4回以内	散布	I: 3A	□ /	□ /	□ /	□ /	※2回以内									
			○						○		○		アクタラ顆粒水溶剤	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	I: 4A	□ /	□ /	□ /											
	○								○		○		アドマイヤー水和剤(劇)	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		□ /	□ /	□ /	※施設栽培のみで登録あり (露地栽培では使えない)										
		○							○		○		ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		□ /	□ /	□ /											
	○						○	○	○		○		モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		□ /	□ /	□ /	合わせて 3回以内										
		○							○		○		モスピランジェット(劇)	くん煙室容積400立方メートル(床面積200㎡×高さ2m)当り50g	収穫前日まで	3回以内	くん煙	□ /	□ /	□ /												
									○		○		トランスフォームフロアブル	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I: 4C	□ /	□ /												
	○			○				○					スピノエース顆粒水和剤	5000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I: 5	□ /	□ /												
	○										○	○	アグリメック(劇)	500～1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I: 6	□ /	□ /												
	○			○		○		○			○		アフーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	散布		□ /	□ /												
									○		○		チェス顆粒水和剤	5000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	I: 9B	□ /	□ /	□ /											
		○	○					○	○				コテツフロアブル(劇)	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	I:13	□ /	□ /	□ /											
	○								○		○	○	モベントフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	I:23	□ /	□ /	□ /											
	○			○				○	○	○		○	ベネビアOD	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	I:28	□ /	□ /	□ /											
	○			○		○	○	○	○		○		ヨーバルフロアブル	2500～5000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		□ /	□ /	□ /											
									○		○		ウララDF	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	I:29	□ /	□ /	□ /											
	○			○		○		○			○	○	グレーシア乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I:30	□ /	□ /												
	○			○				○					プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I:UN	□ /	□ /												
	○	※うどんこ病・べと病・褐斑病にも登録あり1000倍(予防効果)													○	○		○	ハチハチ乳剤(劇)	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I:21A F:39	□ /	□ /						
													○	カネマイトフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	1回	散布	I:20B	□ /												
													○	ダブルフェースフロアブル	2000倍	収穫前日まで	1回	散布	I:25B I:21A	□ /	連用しない											
													○	ダニサラバフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I:25A	□ /							□ /					
													○	ダニオーテフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I:33	□ /												
													○	ニツソラン水和剤	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	I:10A	□ /							□ /					
																			□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /						
																			□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /						
																			□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /						
																			□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /						

☆10a当りの散布量は、生育に応じて150～300ℓ

★ 農薬の使用時期で「収穫前日まで」との記載は収穫開始の24時間より前に使用することを表します。(山形県農作物病害虫防除基準)
但し、朝に収穫してその後速やかに農薬散布をし、翌朝同じ時間帯に収穫であっても問題ありません。(JCPA農薬工業会)
朝に農薬を散布して夕方に収穫する、夕方に散布して翌朝に収穫するような使用は避けてください。

☆農薬使用上の注意 ～農薬を使用するときは、必ず農薬のラベル表記事項を確認する～

1. 適用農作物 2. 使用量・希釈倍率 3. 使用時期 4. 本剤の使用回数・同一成分を含む総使用回数 5. 使用方法を遵守する。

★農薬散布にあたっての注意(農薬飛散防止など)

1. 病害虫の発生状況等を見て散布する。 2. 適正な栽培密度とし通風・作業性をよくする。 3. 病害虫の発生源となるものについては随時、適切に撤去する。 4. ドリフト軽減ノズルや防薬ネットの使用。

☆RACコード

1. 農薬ごとの作用性を分類したものを「RACコード」といい、製品ラベルなどに表示されている。 2. 農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられている。

3. RACコードが同一であれば、有効成分が異なっても同一系統の薬剤なので、連用は避ける。

★くん煙剤使用時の注意事項

1. 室外で強い風が吹いているときは、煙が片寄ってしまい、均一な効果が出にくいので使用しない。 2. 定植直後又は幼苗、軟弱苗等には薬害を生ずる恐れがあるので使用はさける。
3. 高温時のくん煙は薬害を生じる場合があるので、なるべく夕方温度が下がってからくん煙する。